

授業科目	精神看護学概論	担当講師	専任教員 非常勤講師（実務経験のある精神保健福祉士）
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	心の働きや発達、心の健康について学び、精神保健活動について理解する。		
使用テキスト	新体系看護学全書「精神看護学概論／精神保健」メヂカルフレンド社		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 精神看護の概念	1	1 精神障害と精神保健 2 精神の健康とは 3 精神看護の役割	
2. 心のとらえ方	3	1 脳と心 2 認知機能と心 3 精神（心）構造とはたらき	
3. 心の発達	4	1 心の発達の理論	
4. ライフサイクルおよび生活の場と心の健康	6	1 家族と心の健康 2 学校と心の健康 3 職場・仕事と心の健康 4 地域における生活と心の健康	
5. 危機的状況にある人への関わり	4	1 危機理論・危機モデル 2 適応と不適応 3 セルフマネジメント	
6. 精神保健の目的と精神保健医療政策	4	1 精神的健康の保持・増進としての精神保健 2 地域精神保健（コミュニティ・メンタルヘルス） 1) 入院医療中心から地域生活中心へ 2) 第一次予防、第二次予防、第三次予防 3) リカバリーを機軸とした精神医療 4) 障害者権利条約の批准	精神保健福祉士による講義
7. 精神保健医療福祉の歴史と現在の姿	4	1 精神医療の歴史 2 精神障害をもつ人を守る法・制度 3 精神保健福祉法における医療の形態と患者の処遇 1) 入院医療の形態 2) 入院患者の処遇と権利擁護	精神保健福祉士による講義
8. 現代社会と心の問題	4	1 現代社会の特徴：社会構造の変化と社会病理 2 精神保健が関与する社会病理現象	精神保健福祉士による講義

授業科目	精神看護学方法論Ⅰ	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	精神看護援助の基本と技術について学ぶ。		
使用テキスト	新体系看護学全書「精神障害をもつ人の看護」メヂカルフレンド社		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 対人関係の理論	2	1 ペプロウ 2 オーランド 3 ウィーデンバック 4 ロジャーズ	演習
2. 援助関係の構築	2	1 「患者 - 看護師」関係の目指すこと 2 「患者 - 看護師」関係を理解するための手がかり 3 関係構築にあたっての基本的な態度 4 患者とのかかわりで起こりうることと対処	
3. 精神障害を持つ人とのコミュニケーション	8	1 精神障害をもつ人とのコミュニケーションの特徴 2 治療的コミュニケーション技法 3 自己のコミュニケーションの振り返り プロセスレコード展開	
4. 精神看護の発展	2	1 リエゾン精神看護 2 災害時の精神保健 3 司法精神医療と看護	
	1	試験	

授業科目	精神看護学方法論Ⅱ	担当講師	非常勤講師（実務経験のある医師） 専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	精神障害の症状、診断、治療を学び、精神障害を持つ人を理解するとともに、疾患や症状に対する看護の特徴、援助方法を学ぶ。		
使用テキスト	新体系看護学全書「精神障害をもつ人の看護」メヂカルフレンド社		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 精神障害の基礎知識	1	1 精神障害の概念 2 精神障害の分類と診断	医師による講義
2. 精神症状	3	1 精神症状 1) 意識障害 2) 知覚の障害 3) 思考の障害 4) 感情の障害 5) 意欲・行動の障害 6) 自我意識の障害 7) 記憶の障害 8) 見当識障害 9) 睡眠の障害 10) 知能 11) 神経心理学と高次脳機能障害 12) 性格・人格（パーソナリティ）	医師による講義
3. 精神疾患・障害	6	2 状態像（症候群） 1) 幻覚妄想状態 2) 精神運動興奮状態 3) そう状態 4) 抑うつ状態 5) 無為・自閉状態	医師による講義
4. 精神疾患・障害の治療	4	1 主な精神疾患・障害 1) 神経発達症群／神経発達障害群 2) 統合失調症スペクトラム障害 3) 双極性障害および関連障害群 4) 抑うつ障害群 5) 不安症群／不安障害群 6) 強迫症および関連症群／強迫性障害および関連障害群 7) 心的外傷およびストレス因関連障害群 8) 解離症群／解離性障害群 9) 身体症状症および関連症群	医師による講義

		10) 食行動障害および摂食障害群 11) 睡眠覚醒障害群 12) 物質関連障害および嗜好性障害群 13) 神経認知障害群 14) パーソナリティ障害群 15) てんかん 2 主な治療 1) 薬物療法 2) 電気けいれん療法 3) リハビリテーション療法 4) 精神療法	
5. 精神の病気・障害をもつということ	1 4	1 精神（心）を病むとはどういうことか 2 精神障害と差別 3 精神障害をもつ人が経験し感じていること 4 精神障害とともに生きる	
6. 精神疾患・障害をもつ人への看護		1 治療的環境 2 患者の安全を守るリスクマネジメント 3 セルフマネジメント 4 権利擁護 5 精神疾患・障害患者の看護 1) 統合失調症患者の看護 2) うつ病患者の看護 3) 双極性障害患者への看護 4) 妄想性障害患者の看護 5) アルコール依存患者の看護 6) 強迫性障害患者の看護 7) 神経性やせ症摂食制限型患者の看護 8) 注意欠如・多動性障害患者の看護 9) 自閉スペクトラム障害患者の看護 6 治療と看護 1) 薬物療法と看護 2) 電気けいれん療法と看護 3) リハビリテーション療法と看護 4) 精神療法と看護 7 家族の理解と援助	
	2	試験	

授業科目	精神看護学方法論Ⅲ	担当講師	非常勤講師（実務経験のある看護師） 専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	精神障害を持つ人の社会復帰や地域生活への支援を学ぶ。 セルフケアに焦点を当てた看護展開について理解する。		
使用テキスト	新体系看護学全書「精神疾患をもつ患者の看護」メヂカルフレンド社		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 精神障害をもつ人の 地域における生活への 支援	6	1 地域生活への再構築と社会参加 2 精神障害を持つ人への地域生活支援の実際 3 精神障害をもつ人を介護する家族への支援	臨床看護師による講義
2. 精神障害をもつ人への 看護援助の展開	8	1 精神障害をもつ人へのセルフケアの援助 2 精神障害をもつ人のセルフマネジメント	演習含む
	1	試験	